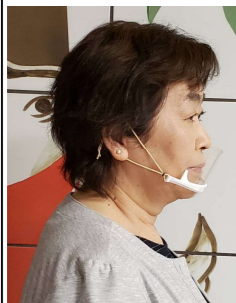


## 愛媛支部

### ピンチをチャンスに変える



愛媛県では、新型コロナウイルス関連情報を速く正しく伝えるため聴覚障害者協会から要望を出した結果、4月7日から知事会見に手話通訳が付きまして。県のHPで公開されている動画は、ワイプの位置や大きさ、またライブ配信されるようになってからは、カメラの位置や映像との調整など、日々、改善が重ねられています。

また、特別定額給付金の申請や生活の相談のために、公的機関を訪れる人が増えています。フェイスシールドや透明スクリーンの導入が進んでいますが、市役所やハローワークなどで働く手話通訳者や手話協力員の健康・安全はきちんと守られているのか情報を収集したり、給付金の申請に備えて各市町の設置通訳者が情報共有をしたりしています。

厳しい状況ですが、一方で、情報保障やコミュニケーションの問題が多くの人に注目されたことや、聞こえる人にとっても視覚的にわかりやすく聞き取りやすい知事会見になったことなど、良いこともあったと思います。

完全再開まではまだ時間がかかりそうですが、これまでの活動を振り返り、変えていけることや新しく始められることを見つけていきたいと思っています。



### 知事記者会見での手話通訳

新型コロナウイルスの影響で、予定していた行事や会議が次々と延期・中止となり途方に暮れる毎日でした。

香川では知事の定例記者会見における手話通訳について、法人から要望しようとしていた矢先、4月6日（月）の会見の最後に「他県では手話通訳がついているが香川は検討しているか」との質問があり、4月13日（月）の定例記者会見から実施されることになりました。週1の定例記者会見は県に雇用されている会計年度任用職員の通訳者2名が担当し、時間外・土日祝日は聴覚障害者福祉センターと協議の末、センターが通訳者を派遣することに決まりました。4月にクラスターが発生したときは、日中はもちろん夜間の会見もあり大変でした。現在は新しい感染者の発表はなく落ち着いています。

当初、通訳者は着用していなかったマスクも、現在は、感染予防の観点から透明のマスクを着用するようになるなど変化がありました。全国的にも手話通訳が注目されています。新型コロナウイルスが無ければ会見に通訳はつかなかったかもしれません。疲弊するだけではなく気持ちを切り替えて進もうと思います。手話通訳の技術・環境・調整など様々な課題もありますが、コロナが収束してからも引き続き、知事の会見に通訳配置の要望をしています。

## 香川支部

# あさいと 福祉

### ピンチをチャンスに 高知

2月29日 県知事と高知市長による緊急記者会見がテレビ放送されましたが、字幕も通訳もなく、両首長はマスク着用のままで、聞こえない方々にはなんの配慮もなく、またしても情報からの疎外感を感じました。とさ通研は、協会・情報センター・サ連とともに、県・高知市・各報道機関に対して情報保障を求める要望書を提出しました。NHKから取材を受け報道されたことも相乗効果となり、県障害福祉課・県広報広聴課と共に今後の対応について協議し、設置通訳2名で対応することになりました。しかし、安全面や時間的制約など問題は山積している状態です。

とさ通研の行事は、現在すべて中止または延期で、この先の見通しはまだない状況です。事務局の会議はZOOMで行っています。最初は右往左往しましたが、経験を積むことが実力につながる事を実感しながら、少しずつ日常を取り戻そうとしています。

みんな、コロナに負けず、がんばろう。

## 高知支部



### 令和2年度徳通研事業開始！

令和2年度の定期総会を4月25日に開催しました。新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発令中で、県内の公共施設の利用制限が始まっていた。幸い？なことに総会出席者が運営委員のみで、多くの会員

は委任状を返送していたので何とか開催できました。少人数開催だったので、会員へ総会資料をすぐに送付し意見募集を行いました。

連休明けからは、県内のウイルス感染者が増えないこともあり、施設の利用ができるようになりました。おかげで講師団会議や学習会も開催でき、少しずつ活動自粛が緩やかになってきました。この間4月21日より、初めて徳島県知事緊急記者会見に手話通訳が付くようになりました。定例記者会見までには至りませんが、新型コロナウイルスの緊急記者会見において手話通訳が同時配信されることは、これまでにない画期的なことです。また、知事への感染防止策に、県もフェイスシールド等の対応を考えてくれました。また、県立障がい者交流プラザのインフォメーションに協会理事長の手話による感染症についてのお知らせを放映し、関係者にDVDも送付しました。6月に入り、手話通訳者養成、手話奉仕員養成も始まり、徳通研学習会も開催ができています。会員からの会費入金も前年よりも積極的に送金や持参してくださる会員のおかげで、ほぼ半数の方が継続していただいています。

まだまだ油断ができないコロナと共存するつもりで共に頑張ってください！

## 徳島支部